

天皇皇后両陛下：

王妃と私を国賓としてお招きいただき、暖かくお迎え下さいましたことを心より御礼申し上げます。私ども二人は皇太子時代の 2005 年にもこの愛する国を訪れ、忘れ得ぬ思い出となりました。

日本スペイン両国の古くて深い関係の証として貴国からも両陛下と皇太子殿下が我が国を訪問されております。そして今日、両国関係は未来に向かう新しい局面を迎えました。

両国民の交流は、今から 468 年前、スペイン人宣教師フランシスコ・ザビエルが日本に到着したときに始まりました。さらに 17 世紀初頭、我が国との関係樹立を目指して送られた慶長遣欧使節には、スペイン人も同行しておりました。そして有為転変の歴史を経て 19 世紀、1868 年に再び両国は出逢い、正式な外交関係が樹立されました。これら歴史的な出来事は様々な成果をもたらしましたが、その中でも相互の憧憬、尊敬、親愛の情は常に変わらず継続しております。

今日スペインと日本両国は、平和と国際秩序を擁護する二つの国家であり、進歩、正義、人権、持続性ある発展という目的を共有しております。

来年は、両国の外交関係樹立 150 周年という節目の年を迎えます。両国関係は一層緊密さを増し、様々な分野における日西協力が促進されるものと期待しております。

両国関係の一層の発展は強固な基盤に基づくものです。2013 年には日本とスペイン国交 400 年を機に、様々な記念行事が行われ、両国政府は、平和、成長、イノベーションのためのパートナーシップ共同声明を発表しました。この三つの言葉は両国の目指す究極の目的をよく表しています。

平和とは、日本もスペインも国際秩序の擁護と国連の人権憲章の原則と価値観を尊重する断固たる決意を共有しているからです。

成長とは、日本もスペインも国民のための繁栄と進歩を熱望しており、企業の協力体制も万全です。

そしてイノベーションは、すべての人々にチャンスがあり、より環境に配慮した持続性ある世界の実現のカギとなるものです。イノベーションこそ生産性と成長のための条件であり、人々の快適な生活に貢献するものといえます。

さらに両国政府の推進する政策より大切なことは、両国民のコンタクトと知識の交流であり、お互いが相手の国に惹かれ、親愛の情を抱いていることだと言えましょう。

しかし本日私がこの機会に特にお伝えしたいことは、天皇皇后両陛下への私共の深い敬愛と憧憬です。両陛下は常に国民のために奉仕するという姿勢を貫かれ、その御姿こそ、世界中の人々が尊敬する日本の生きたイメージでいらっしゃるのです。

ここで、日本とスペイン両国の相互理解と友情が一層深められ、日本国民の繁栄と幸福、両陛下のご健勝を祈念して乾杯し、私の言葉とさせていただきます。